

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルーミー		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに合わせた支援をチームで行っていることです。子どもに応じた適切な関わりを行えるように、クラス会議等で、子どもや家族の状況の把握に努めて支援の方向性を一致させています。	子どもたちが自分の気持ちを出しやすいように寄り添って関わり、伝えてくれた気持ちを活動や支援に反映させるようにしています。面談等で保護者から聞き取った内容もすぐに職員間で共有しニーズの把握に努めています。 また、日々の療育前後にも職員間で細かくコミュニケーションを図り方向性を一致させ子ども達に関わるようにしています。	面談以外にも電話やメール等でこまめに保護者の方とやり取りをしてより保護者や子どものニーズや困り感を適切に捉えられるように職員全体で努めています。
2	クリニックや学校など子どもに携わる機関とも協力、情報を共有してアドバイスを貰うなど支援に取り入れています。	必要に応じて学校支援、他機関と連携して子どもの支援を行っています。他機関と協力することでさまざまな視点から子どもを捉え肯定的な支援に繋がっています。	引き続き、他機関との連携を継続して支援に繋がっていきます。
3	年代や部門ごとに合わせた様々な研修に参加する機会があります。	年代や職種に合わせた、内部・外部研修など職員が参加できるようにし、人材育成にも積極的に取り組んでいます。	引き続き積極的な研修への参加や専門書に触れるなど専門性の向上に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流の機会が少ないことです。地域の公園などに活動に行った際に一緒に具で遊ぶことはありますが、積極的に交流することはしていません。	コロナなどの感染症の流行があり、地域交流には積極的になれない状況でした。	近隣の公園等での地域の子ども達との関わりも引き続き大切にしていき多く交流を持てるように活動を工夫していきます。
2			
3			